



# 鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。

廃止するためではなく、完成するためである』

聖書(マタイ福音書5章17節)

牧師 河合裕志

何事も完成するって素晴らしい。先日山手にある横浜共立学園に、その構内にある「新約聖書和訳の地」に行った。そこはS. R. ブラウン宣教師の邸跡。ここで彼は新約聖書和訳委員会の長として和訳に当る。記念碑にはこう記されていた。「1872年着手 1880年完成」。8年の歳月をかけて遂に完成を見たことがうかがえる。大きな喜びだったろう。こうした先人の努力によって私達も日本語で聖書を読めるようになった。

ところで今イエスの冒頭の言葉、「完成するため」とは何を言ったものだろう。それは「律法や預言者を完成するため」と言うことのように。これってどういうこと、一寸わかりにくい。「律法や預言者」というのは今日キリスト教会で言うところの「旧約聖書」を指している。そこには沢山の律法や預言の言葉、歴史の記述が見られる。

イエスは小さい時から「旧約」に慣れ親んだ。ユダヤ教の先生や親から聞いてこれをよく暗記した。大きくなって公生涯に入って律法の専門家から「律法の中で、どの掟が最も重要ですか」と問われたことがあった。この時イエスは長く心の内であた

めていた二つの掟を示す。「あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(申命記6章5節)

「自分自身を愛するように隣人を愛しなさい」(レビ記19章18節)。イエスは『律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている』と言った(マタイ22・40)。

あの分厚い旧約は要するに神への愛と人への愛を教えたもの、これを守ればいいんだよとイエスは示してくれた。これは大変に有難い要約。愛を目標として生きればよいということ。

ところで人間はこの二つの掟に忠実に沿って歩んだかということ、実はそうではなかったのではないかということ。結局人間は神よりも人よりも自分を愛するものではないかということ。この二つは満たされないままに宙にとどまっているのでは？

そんな時イエスは来た。この二つを満たすため、完成させるために。十字架はその証。父なる神を心から愛するイエス、そして人々を心から愛するイエスはこの二つの愛の故に十字架の道へ進んだ。このことにより神の要求は満たされ、人間に罪の赦しがもたらされた。こんな完成はイエスにおいて他にない。

## 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時